

## 平成28年度 事業報告

### 1. 事業の概況

国は団塊の世代が75歳以上となり高齢化がピークを迎える2025年（平成37年）を見据え、高齢者の尊厳の保持と自立支援を行い、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような政策を打ち出し、高齢者への地域での支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括システムの構築の実現に向けて取り組んでおります。当法人でもその中心となるように、体制や環境を整えていく準備を行っております。

前橋市でも平成29年度より「介護予防・総合事業」が始まることで大きな一歩を踏み出すこととなります。こういった背景の中で、当法人では「地域包括ケア推進」として、地域包括支援センターが中心となり、地域資源を築き有効活用するために、地域ケア会議の開催等を行ってまいりました。介護予防総合事業に関しては、市受託事業部門も円滑な移行ができるように当年度準備してまいりました。

また、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化、介護人材確保対策の強化、サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築という介護保険の改正に即しながら、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所においても、介護、福祉のプロフェッショナルとして専門性を特に意識をしながら、運営をしてまいりました。

各事業所別では、特別養護老人ホームでは、空床日数の削減を図るために、利用者退所後、早期に入所を目指して運営を行ってまいりました。その結果、平成28年度新規入所が28名に対し、退所者が27名と、新規の入所が、1名上まわり、一時は満床を達成できましたが、全体としてみると平均入所者数は75名で、稼働率の向上という観点では依然として課題となっております。当年度27名退所者のうち当施設で看取った利用者数は23名で、利用者だけでなくご家族に対しても、安心して施設で最後を迎えることのできるような運営を心がけて参りました。

介護事故（インシデント含む）に関しては毎月の事故会議を始めとし、リーダー会議内や、事故が起こった時に早急に全体会議を行い、検証と原因追及、再発予防を図ってまいりました。

また、人員不足に伴う、業務や勤務時間帯の見直し・改善も行い、人員配置の効率化を行ってまいりました。

強化項目としては口腔ケアの強化に着目し当年度より口腔ケア委員会を立ち上げ、協力歯科医の指導のもと、利用者個々の嚥下状態、口腔内環境（自歯、部分義歯、総義歯）に合わせた適切な口腔ケアの手技、ケア物品の確認を行い誤嚥性肺炎予防に努める働きかけを行ってきました。その結果、誤嚥性肺炎での入院等は大幅に減少いたしました。

もう一つの強化項目である感染症対策については、夏季には、食中毒予防として、ご家族

より食べ物の持ち込み自粛のお願いを行い、10月半ばよりは本格的にインフルエンザ、嘔吐下痢予防策に努めてきた結果、平成28年度においても前年度に引き続き利用者様のインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の発症者は0で3月末まで維持することができ、ご家族をはじめ入館者のご協力のもと、感染症流行時期を無事に乗り越えることができました。

ショートステイに関しては、定期利用者が入院や、永眠されたこと、特養への入所等が続いたことで、空床数が増えてしまいました。新規のショートステイ利用者も増加してはいますが、定期利用者は少なく、今後も課題となっております。

栄養課では、利用者の方々が、楽しく、安全に、健康的に食事を行っていただくためにきめ細かく運営をしてまいりました。法人共通で行ったこととしては、月1回の行事食の提供（季節の食材を使用）や、選択食（5,7,8,10,2月）・そば職人によるそば打ち実演と提供（6,11月新そばの時期）など、季節や、好みに合った食事提供することだけではなく、選択食においては自ら食事の選択をする楽しみをもっていました。

行事食、選択食については旬の食材の栄養や効能、行事のいわれ、旬のエピソード（インフルエンザ、脱水症の予防など）を食育の一環として施設内放送を行い、旬の食材の栄養、効能についてのポスター掲示を行ってまいりました。

各事業の強化項目としては、特養では毎月の誕生会のケーキ準備・8月かき氷・12月忘年会（利用者と職員合同）を行いました。それとともに栄養マネジメントによる個別対応（食事形態・食事量の変更、自立摂取継続のための提案、食事介助時の注意事項などの提案と実施）を継続して行っております。

デイサービスでは、毎月の調理レクの準備会議と当日の準備・誕生会にケーキ作り行う際も同様に参加し利用者に楽しんでいただけるように提案を行っております。麵献立時には温かい麵の提供も行っております。

ケアハウスでは、誕生会（3か月に1回）のケーキの提供・お茶会での季節菓子の提供（不定期時節により）や食育（不定期、衛生や栄養について）について情報の提供を行っております。他事業と同様に麵献立時の温かい麵の提供を行っております。

利用者の方々の安全を守るという立場から、感染症対策の中心になり、会議等を開催、検討、対応策を講じた結果、特養利用者のみならずインフルエンザ、ノロウイルスの発症がなかったなど効果を実感することができました。

デイサービスセンターでは、定期的な行事、外出行事、クラブ活動等を通し、利用者の方の生きがいの向上を目指しました。

特にクラブ活動では、年間で自分に合ったクラブ（ものづくり、歌等）を、選択していただき、一年間の目標をもって参加していただきました。

当年度においては、前橋市の関係団体アーツ前橋の学芸員及び関係者の協力のもと、上半期には定期的に民族打楽器等の演奏やパフォーマンスを行っていただき、利用者自ら参加

する形で珍しい楽器の演奏を体験、7月にはアーツ前橋のギャラリーにおいて利用者・職員参加のもと「RHYTHM 打(リズムだ)！えいめい ライブ」を開催、映像による広報活動も行っていただくなど、高齢者と音、体表現の変化など次第に笑顔での関わりを感じ取れる企画を提案していただきました。学芸員の方、神楽太鼓の奏者、ダンサー、カメラマンの方それぞれが高齢者施設の利用者との関わりのなかで、新しい関係性を見出すことができたと思うと同時に、当法人の職員もいろいろなことを感じ取ってくれたと感じております。この企画の契機を作ってくれた当法人の地域包括支援センターの職員、企画運営を快く引き受けてくれたアーツ前橋関係者の皆様には心から感謝申し上げます。

また、前橋市主催の七夕祭りへの作品「それゆけ！えいめいぐんま丸！七夕に願いを込めて！」の飾り付けを行い、一般・団体の競技部門で前橋市問屋センター理事長賞を受賞、その作品を利用者の方が実際に展示されているところを見て評価を受けることで、更に生活意欲の向上につながるなど、生きがいにつながる環境づくりに努めてまいりました。ご家族等にご利用者の利用、活動風景を届ける一環として、デイ通信を作成しお届けさせていただきました。見て頂いた本人だけでなくご家族等からも、とても好評をいただいております。

ヘルパーステーションでは、利用者の社会的孤立の解消、独居高齢者の社会的環境保持に努めてまいりました。平成29年度から前橋市で開始される総合事業を見据えたサービス強化や体制の強化を行ってまいりました。利用者の自立支援の観点をより重要視し、地域関係機関、ケアマネジャー、医療機関との連携を密に測り、在宅生活が継続できるように支援してまいりました。また、利用者だけでなく、ご家族がサービス提供によりどのように問題解決を望んでいるのか、職員会議等、職員間で検討してまいりました。

平成28年5月より特定事業所加算、取得のための体制整備を行いました。その結果、電子メール等を使用し、訪問介護員同士の報告、連絡、相談を一層スムーズに行え、定期ミーティングでも、サービス対象者の情報、問題解決を図ることができたと考えております。

利用者様へのアンケートを行った中で、「今後もえいめいのサービスを継続して利用していきたい」との声が数多く聞かれたことで、職員一同、より良いサービスを行っていこうと身を引き締めるとともに、職員一人一人が地域の担い手ととらえ安心安全のサービスに貢献していけるように努めていきたいと思っております。

居宅介護支援事業所では、介護保険法を遵守した居宅介護支援事業を行ないました。居宅介護支援の依頼のあった、利用者やご家族の意向を基に、課題標準分析に基づいたアセスメントを行い、公正中立な立場で介護サービス計画を作成しました。

利用者様の自立支援に向けて、各種介護保険サービス・福祉サービス・施設サービス・地域インフォーマルサービスの提供にかかわる調整を行いました。介護保険の認定を受けられるための申請（新規申請・区分変更申請・更新申請）についても、ご本人ご家族の依頼のもとに行いました。制度改正を受けて、特定事業所加算を算定する事業所としての自覚を持

ったサービス提供に心がけました。

居宅介護支援事業の実施(厚生労働省基準である介護支援専門員1名につき35件が基準)では35件を上限としていますが、予防を含めると平均稼働率ほぼ100%を超えた数字で推移、アセスメント、主治医との連携、居宅サービス計画作成、モニタリング、サービス担当者会議の開催、福祉用具購入、福祉サービスや障害の制度の利用支援や利用料の減免等各種申請の代行、困難事例について包括を交えてケア会議を実施、看護協会と共に困難事例の事例検討会を実施するなどしてまいりました。

また、予防給付計画の作成にかかる一連の業務、重要事項・契約、アセスメント、プラン作成、モニタリング、評価、給付管理、平成29年度の総合事業に向けて研修会への参加。認定調査の実施、受託契約に伴う認定調査の実施(認定調査・面接技法の研鑽として実施)。介護支援専門員資質向上のための研鑽、市・地域包括支援センターとの連携・情報交換会・事例検討会へ参加、各種研修会への参加(施設内研修・認知症研修等)、居宅会議・ケース会議・伝達等を目的とする会議の定期開催を行ってまいりました。

ケアハウスでは、定例的な外出行事、外食会、買い物ツアーなどの行事を行うとともに、引きこもり防止のため、なるべく入居者全員が参加出来て安心して楽しく暮らせるようにボランティアの受け入れを積極的に行いました。

特に誕生日会ではボランティアの協力により音楽演奏を楽しんでいただくなど取り組んでまいりました。相談援助においても入居者の方の立場に立ち真摯に受け止めるとともに、問題を先送りせず解決出来る様に努力してまいりました。具体的には「入居者運営懇談会」を開催し、全体での悩み・相談・苦情・意見などを吸い上げ対応させていただきました。入居者への声掛けを強化し、相談や意見などは随時対応いたしました。

地域包括支援センターでは、平成28年度においては、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域づくりを重点に置き活動しました。地域との連携をはかる為、例年どおり自治会長会議・民生委員定例会議・保健推進員会議・永明地区老人クラブ連合会会議等に参加し、気軽に相談ができる体制、スムーズに情報の共有が出来る体制を整えてきました。また前年度と同様に自治会ごとの地域ケア会議を行い、住民自らが取り組む町づくりについて検討してまいりました。

それと同時に、在宅医療チームの構築に向けて、前橋市内を5ブロックに分けた体制の中で南ブロックとして、包括支援センター南部・城南と共に、医療介護の連携の為、医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーションの代表による会議開催や、城南地区において住民に向けた勉強会を開催、南部地区では、ケアマネジャーを中心の事例検討会等を開催してまいりました。

地域の高齢者支援として、6・1調査後に民生委員と地域の高齢者の情報共有をし、その中で心配な方のお宅には訪問し、状況把握を行うと共に高齢者の相談窓口として地域包括

支援センターがあることをお伝えしてきました。

その他の活動として、今期は民生児童委員の改選年でもあった為、新任の民生児童委員の方に対し、地域包括支援センターの業務や取り組み、民生児童委員との連携について勉強会を開催いたしました。

平成29年度は新しい総合事業も始まることで、より一層業務が多様化していくと思いますが、今年度の活動を基盤に、社会福祉協議会とも連携を取りながら今後の運営に生かしていきたいと思っています。

市受託事業では、「いきいき長生き教室」、「身体と脳の若返り健康教室～ピンシャン元気塾～」、総合事業前橋市モデル事業「ピンシャン元気塾卒業生コース」を前橋市より受託いたしました。

いきいき長生き教室では、上大島町公民館で全10回開催し、延べ参加人数は200名、平均参加者は20.0名、平均年齢は83.4歳と、参加者の年齢も年々高くなっておりますが、介護予防に関する意識も高く、参加者同士で声を掛け合って参加いただいております。

通所型介護予防事業「身体と脳の若返り健康教室～ピンシャン元気塾～」は、1コース3か月、全12回で介護予防のための「運動」「口腔」「栄養」の3つのプログラムを複合して行い参加者の健康の増進に努めております。参加定員が15名の枠ですが、1コース平均20.25名の参加者で開催させていただきました。永明地区は他地区と比べ人口が少ないなかで、参加人数も多く受け入れましたが、参加率、卒業率は高く、当年度は4コースを受託し81名が参加申し込みを行い、77名の方が卒業し、参加者の95%の方が修了されております。

平成28年度も総合事業モデル事業「ピンシャン元気塾卒業生コース」を前橋市より受託いたしました。当年度は木曜日と金曜日の2コースで運営し、年間を通じて102回の開催で延べ2,008名、平均19.7名の参加となりました。

通所型介護予防事業「身体と脳の若返り健康教室～ピンシャン元気塾～」、総合事業モデル事業「ピンシャン元気塾卒業生コース」は平成28年度で終了し、平成29年度からは、「通所型サービスA ピンシャン えいめい」として運営させていただくことになりました。今までの事業で培ってきた、介護予防に対する経験をもとに地域の介護予防のために邁進していきたいと考えております。

## 2. 職員の状況

介護職員を中心に人材不足が課題となっておりますが、昨年に引き続き「介護従事者の離職防止、介護従事者の処遇改善に資するよう、ひいては利用者が質の高いサービスを安心して安定的に利用することができるようにする」ことを目的とした介護職員の処遇改善加算の算定により、介護職員のみならず全職員の処遇改善を図ってまいりました。

また、キャリアパスに基づく職員個々の能力の向上と資格取得の推進により、当年度においては「社会福祉主事」3名（事務・特養・デイ）の通信教育課程を修了。日本ケアマネジメント学会・認定ケアマネジャー修了など、一部資格取得に係る費用は法人で負担するなど、法人としての総合力のアップを図ってまいりました。

また、施設内研修を担当制により計画的に立案、実施するとともに、施設外における研修や講演会にもできるだけ多くの職員が参加することができるよう配慮してまいりました。

特に、全員に周知すべき内容については、施設内での復命研修として、情報を多くの職員が共有できるよう取り組んでまいりました。

また、職員の入退職は当年度 入職 7名、退職 9名（前年度 入職9名、退職14名）という結果で、うち入退職おのおの2名については職員の傷病休暇中の代替要員としての短期雇用であり、そのことから退職者はやや落ち着きを見せてきましたが、介護職についてはなかなか補充ができず人材の確保は重要な課題ともなっております。

給与などの処遇面以外での問題点の解決、職員が勤労意欲を持つことができる職場環境の整備は最重要課題と考えております。当年度からは職員の定期健康診断においては、夜勤者のみでなく介護職員は全員年2回の受診を行うことで、職員の健康管理を強化するとともに、メンタルヘルスチェックを法令に基づき行うことで、職員の心の健康の状況把握にも努めてまいりました。個人情報の関係から関係職員しか知りえない情報ですが、嘱託医との連携を図り相談しやすい環境づくりを心掛けてまいりました。今後、個人が抱えるストレスの軽減のための措置にも取り組む必要があると考えております。

平成29年4月1日現在 在職職員数84名（常勤・嘱託 64名、非常勤 20名）の主な資格所有状況（重複有り）

- |                  |                 |                 |
|------------------|-----------------|-----------------|
| ・社会福祉士 4名        | ・保健師 2名         | ※その他資格          |
| ・社会福祉主事 18名      | ・精神保健福祉士 0名     | ・救命救急士 1名       |
| ・介護福祉士 47名       | ・管理栄養士 1名       | ・甲種防火管理者 2名     |
| ・ヘルパー1級 3名       | ・認知症ケア専門士 2名    | ・第1種衛生管理者 2名    |
| ・ヘルパー2級 36名      | ・歯科衛生士 1名       | ・第2種衛生管理者 2名    |
| ・介護支援専門員 16名     | ・認定心理士 1名       | ・危険物取扱者 1名      |
| ・主任介護支援専門員 4名    | ・ぐんま認定介護福祉士 1名  | ・食品衛生責任者 2名     |
| ・介護職員実務者研修修了 2名  | ・知的障害者福祉司 1名    |                 |
| ・社会福祉施設長 1名      | ・身体障害者福祉司 1名    |                 |
| ・看護師 9名          | ・社会福祉士実習指導者 3名  |                 |
| ・准看護師 5名         | ・介護福祉士実習指導者 8名  |                 |
| ・認知症介護実践者研修修了 2名 | ・認知症ケア基礎研修修了 1名 |                 |
| ・医療的ケア教員講習会修了 2名 | ・栄養士 1名         | ・認定ケアマネジャー 1名など |

### 3. 施設整備等の状況

施設整備面では、冷温水発生機の故障による大規模修繕や厨房機器の一部入れ替え及び修理、エアコンの修理など、施設・設備・備品の劣化による修繕はその都度対応してまいりました。

また、法人のパソコンシステムをリース契約において全面的に入れ替えを行いました。車両においては耐用年数を経過した車両1台をリース契約により入れ換えを行いました。また、当年度日本財団の助成車両1台の寄贈を受けることができ、法人の負担分は僅かで増車することができました。

今後も随時劣化した機器の入れ換えや修繕は増えることが予想され、計画的に修繕を行うほか順次厨房機器の入れ換えや車両等の入れ換えを行っていく予定です。

### 4. 入所者・利用者の状況

事業面における入所者・利用者の状況については、別紙2の「平成28年度 施設別年間利用者状況」のとおり、特別養護老人ホームの一日当たり平均利用者数は74.98名（定員80名、前年72.17名）という結果で、前年比103.9%、稼働率93.7%（前年90.2%）と前年より若干の改善は見ましたが、依然として全国平均を下回る状況は続き課題となっております。死亡退所・入院等による空床は延べ1,833日（前年2,867日）という状況となりました。

また、ショートステイも平均6.81名（定員10名 前年8.30名、前年比82.0%）と大幅に前年を下回り、新規利用者の確保は喫緊の課題となっております。

デイサービスは一日当たり利用者数が25.92名（定員40名、前年24.84名、前年比104.3%）と微増に留まりました。

また、ヘルパーステーションは平均11.91名（前年11.13名、前年比107.0%）と微増とはなりましたが、訪問介護員の不足により厳しい運営を迫られております。

居宅介護支援事業所は7.04名（前年6.70名、前年比105.1%）、地域包括支援センターは12.75名（前年12.21名、前年比104.4%）とそれぞれ順調に利用者数の伸びを確保、ケアハウスは18.0名（定員20名、前年18.56名、前年比97.0%）と夫婦部屋2室でそれぞれ退所が影響し前年を下回りました。

### 5. 評議員会・理事会の開催

平成28年度評議員会・理事会の開催は下記のとおりです。

第1回 平成28年5月24日（火）

平成27年度事業報告・決算報告（監査報告）、役員等任期満了に伴う改選、運営規程・給与規程の一部改正、社会福祉法人制度改革の概要説明ほか（理事会）理事長・職務代理者・施設長の選任

## 第2回 平成28年12月13日（火）

平成28年度補正予算案、施設整備等積立金案、利用者預り金管理規程・給与規程・職員旅費規程の一部改正

社会福祉法人制度改革に伴う定款の改正、評議員選任・解任委員の選任、役員等候補者の選定案、役員等報酬規程案、評議員選任・解任委員報酬規程案ほか

## 第3回 平成29年3月21日（火）

平成28年度再補正予算案、平成29年度事業計画・予算案、定款施行細則の改正、評議員選任・解任委員会運営細則案、運営規程の一部改正、社会福祉充実残額の試算結果ほか

## 6. 社会福祉法人制度改革に伴う事項

平成29年4月1日より施行（一部は平成28年4月1日より施行）の社会福祉法人制度改革に伴い新定款を始めとした書類の整備については、随時行ってまいりました。

行政及び各種団体で行われた説明会等にもできる限り出席し、遅滞ないよう進めてきましたが、漏れが確認されたり、追加規程の制定が必要とされたりと予定どおり進めることができなかった事実もありました。

評議員会・理事会のなかでも早い段階から制度改革の概要を説明し、理解をしていただくよう努めてまいりました。

平成29年度はこの新たな法令・定款・定款施行細則等に基づき試行錯誤しながらではありますが、万全を尽くしての運営を行っていきたいと考えております。

尚、平成29年3月15日（水）に第1回評議員選任・解任委員会を開催、外部委員を含む委員総意のもと平成29年4月1日以降の新評議員の選任を行いました。

## 7. 経営の概況

経営の状況については、法人全体で介護保険事業収入は前年に比べ15,659千円の増（前年比103.3%）となり特養の収入の改善、デイサービスサービス区分におけるデイサービス本体及び前橋市よりの受託事業・通所型介護予防事業の増収、居宅介護支援事業所、前橋市地域包括支援センターの安定した伸びにより全体では増収を確保することができました。

支出面では、人件費については前年比100.5%とほぼ前年並みという結果ではありましたが、介護職員の減少等が要因であり、処遇改善に伴う支出の増加があるなかで、今後、人員補充が進んだ段階では、人件費負担が大きく経営状況に影響することは従前どおり危惧されるところです。



事業費では、電気代、灯油価格の安定により前年比では、94.9%と経費を抑えることができました。

事務費では、冷暖房システムにおける冷温水発生機の故障により大規模な修繕が必要となるなど、修繕費の大幅な増加、また、給食委託費の値上げによる影響も大きく全体では前年比108.6%となりました。

また、平成28年度においてもケアハウスでは安定した収支が確保できたことから、予備費のうち2,000千円を施設整備等積立金として積立いたしました。

以上の結果、法人全体での当期資金収支差額は、7,006千円（前年マイナス4,962千円）と四期ぶりに僅かではありますが黒字を確保いたしました。

## 前橋市地域包括支援センター永明

平成26年度～平成28年度分の実施状況について次のとおり報告します。

項 目		H26年度	H27年度	H28年度	
業務実施日数		244日	241日	244日	
従事職員数		5人	5人	67人	
1 利用者 基本情報 作成	基本情報作成数合計	79件	115件	63件	
	内 訳	介護予防(給付対象者)	71件	98件	57件
		介護予防(特定高齢者)	6件	0件	0件
		相談	2件	14件	2件
		実態把握	1件	3件	4件
		その他	1件	0件	0件
2 相談 件数	相談件数合計	433件	507件	832件	
	相 談 方 法	電 話	255件	319件	451件
		来所	60件	52件	160件
		訪問	107件	127件	199件
		その他	11件	9件	22件
3 権利 擁護 業務	権 利 擁 護	成年後見	0件	6件	6件
		措置の支援	0件	0件	0件
		地域福祉権利擁護	0件	0件	1件
	高齢者虐待	5件	9件	12件	
	困難事例	9件	13件	55件	
	消費者被害	1件	0件	1件	

## 業務実施報告

前橋市地域包括支援センター永明

項 目		H26年度	H27年度	H28年度	
ケ予防 アマ給 マ付 ネシ メ ント	予防プラン作成数(報酬有り)	2753件	2954件	3083件	
	内 訳	うち(包括作成)	1955件	2024件	2076件
		包括作成比率	71%	68%	67%
		うち(初回加算)	97件	120件	97件
		初回加算比率	3.5%	4.1%	3.1%
契新 約規 数	直営分	75件	77件	63件	
	委託分	42件	55件	52件	
	給付管理件数	2775件	2983件	3114件	
	介護予防支援費請求額	¥12,088,564	¥13,473,936	¥13,989,012	

## 平成28年度 施設別年間利用者状況

施設名	性別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		1日あたり 利用者数	前年度
		人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	平均介護度	
特養	男	17	442	16	466	15	448	14	434	14	434	14	420	15	442	15	450	16	439	16	471	16	422	17	462	185	5,330	<b>74.98</b>	<b>72.17</b>
	女	61	1,752	62	1,815	62	1,773	59	1,821	61	1,772	63	1,825	63	1,946	65	1,929	65	1,949	62	1,912	64	1,708	62	1,835	749	22,037		
(定員80)	計	<b>78</b>	<b>2,194</b>	<b>78</b>	<b>2,281</b>	<b>77</b>	<b>2,221</b>	<b>73</b>	<b>2,255</b>	<b>75</b>	<b>2,206</b>	<b>77</b>	<b>2,245</b>	<b>78</b>	<b>2,388</b>	<b>80</b>	<b>2,379</b>	<b>81</b>	<b>2,388</b>	<b>78</b>	<b>2,383</b>	<b>80</b>	<b>2,130</b>	<b>79</b>	<b>2,297</b>	<b>934</b>	<b>27,367</b>	4.12	4.09
ショート	男	5	33	6	36	6	24	5	32	6	47	7	51	4	37	6	20	4	9	2	9	2	15	2	5	55	318	<b>6.81</b> (0.16)	<b>8.30</b> (0.25)
	女	21	209	20	204	23	216	22	194	23	228	20	192	19	183	22	175	15	153	16	138	17	136	15	140	233	2,168		
(定員10)	計	<b>26</b> (1)	<b>242</b> (6)	<b>26</b> (1)	<b>240</b> (6)	<b>29</b> (1)	<b>240</b> (10)	<b>27</b> (1)	<b>226</b> (7)	<b>29</b> (2)	<b>275</b> (13)	<b>27</b> (1)	<b>243</b> (10)	<b>23</b> (1)	<b>220</b> (6)	<b>28</b> (1)	<b>195</b> (2)	<b>19</b> (0)	<b>162</b> (0)	<b>18</b> (0)	<b>147</b> (0)	<b>19</b> (0)	<b>151</b> (0)	<b>17</b> (0)	<b>145</b> (0)	<b>288</b> (9)	<b>2,486</b> (60)	2.74 2.4%要支援	2.75 3.0%要支援
デイ	男	12	107	13	102	14	118	15	132	14	121	13	109	14	122	15	101	14	84	13	92	14	89	14	105	165	1,282	<b>25.92</b> (6.07)	<b>24.84</b> (6.76)
	女	66	573	63	563	62	552	63	574	62	596	62	570	63	570	60	558	60	544	59	534	59	511	60	582	739	6,727		
(定員40)	計	<b>78</b> (23)	<b>680</b> (148)	<b>76</b> (25)	<b>665</b> (164)	<b>76</b> (25)	<b>670</b> (155)	<b>78</b> (26)	<b>706</b> (169)	<b>76</b> (26)	<b>717</b> (182)	<b>75</b> (26)	<b>679</b> (175)	<b>77</b> (25)	<b>692</b> (167)	<b>75</b> (24)	<b>659</b> (155)	<b>74</b> (22)	<b>628</b> (141)	<b>72</b> (23)	<b>626</b> (141)	<b>73</b> (23)	<b>600</b> (129)	<b>74</b> (22)	<b>687</b> (150)	<b>904</b> (290)	<b>8,009</b> (1,876)	2.03 23.4%要支援	2.18 27.2%要支援
ヘルパー	男	14	120	15	114	15	127	16	132	17	138	16	142	16	148	18	149	17	155	17	149	15	130	14	144	190	1,648	<b>11.91</b> (4.78)	<b>11.13</b> (5.12)
	女	26	163	25	160	27	183	27	196	27	190	27	166	27	159	25	153	27	163	29	155	30	161	30	182	327	2,031		
	計	<b>40</b> (22)	<b>283</b> (123)	<b>40</b> (22)	<b>274</b> (112)	<b>42</b> (23)	<b>310</b> (135)	<b>43</b> (23)	<b>328</b> (132)	<b>44</b> (23)	<b>328</b> (130)	<b>43</b> (22)	<b>308</b> (125)	<b>43</b> (23)	<b>307</b> (123)	<b>43</b> (23)	<b>302</b> (113)	<b>44</b> (23)	<b>318</b> (120)	<b>46</b> (25)	<b>304</b> (124)	<b>45</b> (25)	<b>291</b> (115)	<b>44</b> (24)	<b>326</b> (124)	<b>517</b> (278)	<b>3,679</b> (1,476)	1.90 40.1%要支援	1.68 46.0%要支援
居宅	男	43	43	45	45	47	47	48	48	48	48	50	50	48	48	48	48	47	47	46	46	46	46	49	49	565	565	<b>7.04</b>	<b>6.70</b>
	女	94	94	92	92	92	92	93	93	95	95	98	98	93	93	97	97	98	98	98	98	96	96	99	99	1,145	1,145		
	計	<b>137</b>	<b>137</b>	<b>137</b>	<b>137</b>	<b>139</b>	<b>139</b>	<b>141</b>	<b>141</b>	<b>143</b>	<b>143</b>	<b>148</b>	<b>148</b>	<b>141</b>	<b>141</b>	<b>145</b>	<b>145</b>	<b>145</b>	<b>145</b>	<b>144</b>	<b>144</b>	<b>142</b>	<b>142</b>	<b>148</b>	<b>148</b>	<b>1,710</b>	<b>1,710</b>	1.96 介護度3以上の割合 23.1%	2.12 介護度3以上の割合 30.7%
地域包括 (介護予防)	男	75	75	75	75	77	77	76	76	74	74	72	72	70	70	66	66	71	71	71	71	72	72	72	72	871	871	<b>12.75</b>	<b>12.21</b>
	女	177	177	184	184	189	189	188	188	189	189	186	186	186	186	178	178	183	183	189	189	187	187	191	191	2,227	2,227		
	計	<b>252</b>	<b>252</b>	<b>259</b>	<b>259</b>	<b>266</b>	<b>266</b>	<b>264</b>	<b>264</b>	<b>263</b>	<b>263</b>	<b>258</b>	<b>258</b>	<b>256</b>	<b>256</b>	<b>244</b>	<b>244</b>	<b>254</b>	<b>254</b>	<b>260</b>	<b>260</b>	<b>259</b>	<b>259</b>	<b>263</b>	<b>263</b>	<b>3,098</b>	<b>3,098</b>	要支援1.46	要支援1.46
ケアハウス	男	7	210	7	217	7	210	7	217	7	217	7	210	7	217	7	210	7	234	8	248	8	224	8	248	87	2,662	<b>18.00</b>	<b>18.56</b>
	女	11	330	11	341	11	330	11	341	11	341	11	330	11	341	11	330	11	324	10	310	10	280	10	310	129	3,908		
(定員20)	計	<b>18</b>	<b>540</b>	<b>18</b>	<b>558</b>	<b>18</b>	<b>540</b>	<b>18</b>	<b>558</b>	<b>18</b>	<b>558</b>	<b>18</b>	<b>540</b>	<b>18</b>	<b>558</b>	<b>18</b>	<b>540</b>	<b>18</b>	<b>558</b>	<b>18</b>	<b>558</b>	<b>18</b>	<b>504</b>	<b>18</b>	<b>558</b>	<b>216</b>	<b>6,570</b>		

※ ( )内数字は、合計数(上段)の内介護予防利用者数

## 別紙3

## 平成28年度 前橋市受託事業 利用者 状況

## 平成28年度いきいき長生き教室参加者集計

会場名	平均年齢	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月 <sup>6・15</sup> 日	1月	2月	3月	平均	合計
上大島町	83.4	24	23	21	20	19	21	19	18	14	21	20.0	200

※9月は台風の為中止。12月に振替で開催

## 平成28年度 前橋市通所型介護予防事業「からだと脳の若返り健康講座～新ピンシヤン元気塾～」

	①コース	②コース	③コース	④コース	
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
参加者	21	17	24	19	81
卒業者	21	15	24	17	77
延べ参加数	229	178	244	198	849
平均参加人数	19.1	14.8	20.3	16.5	17.7

## 平成28年度 前橋市通所型介護予防事業「ピンシヤン元気塾卒業生コース」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	9	7	9	8	8	10	8	7	10	8	8	10	102
参加者	160	123	160	149	151	189	163	137	196	171	181	228	2008
平均参加率	17.8	17.6	17.8	18.6	18.9	18.9	20.4	19.6	19.6	21.4	22.6	22.8	19.7